

11 水のゆくえ 実験2

4年 組 名前 ()

【見つけよう】

冷たい牛乳やジュースが入ったようきは、時間がたつと、外側に水てきがついてぬれることがあります。どうして、冷たいようきに水てきがつくのかを考えましょう。

空気中には水じょう気があるから、水じょう気が冷たいようきで

冷やされて水てきになるのかもしれない。

【はてな？】

問題

冷たいようきに水てきがつくのは、空気中の水じょう気が冷やされるからなのだろうか。

【予想を書こう】

冷たいようきに水てきがつくのは、空気中の水じょう気が冷やされるからなのかを予想しましょう。

空気中の水じょう気がえき体の水になって、

水てきがつくと思う。

ようきについた水てきは、どこからやってきたのかな？

(理由)

水じょう気は、冷やされると、えき体の水にすがたが変わるから。



【実験の計画を書こう】

冷たいようきに水てきがつくわけについて、自分の予想をたしかめる方法を考えましょう。

〈方法〉

氷水を入れたかん㊟と、水を入れたかん㊦を用意して、水てきのつき方をくらべればよい。

空気中の水じょう気が冷やされると、液体の水になるかどうかをたしかめるには、どうすればよいかな？



見通しをもとう

氷水を入れたかん㊟には、水てきが つく はず。

水を入れたかん㊦には、水てきが つかない はず。

【実験2】

氷水を入れたかんと、水を入れたかんで、水てきのつき方を調べよう。

【結果を書こう】

	水てき
氷水を入れたかん㊟	ついた
水を入れたかん㊦	つかなかった

【結果から考えられることを書こう】

・調べた結果が見通しと (いっちした・いっちしなかった) から、自分の予想は (たしかめられた・たしかめられなかった) といえる。

【結果からわかったことを書こう】

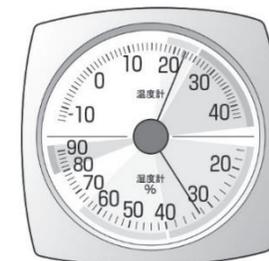
結ろん 冷たいようきに水てきがつくのは、空気中の水じょう気が冷やされてえき体の水になるからである。

【【広がる学び】】

空気中の水じょう気がもので冷やされて、ものの表面で気体から液体に水のすがたが変わることをけつろといいます。



空気中にふくまれる水じょう気の量は、「しつ度」で表すことができます。しつ度が高いと、空気はしめった感じがして、けつろがよく起こるようになります。ぎゃくに、しつ度が低いと、空気はかわいた感じがして、けつろは起きにくくなります。



温しつ度計
文字ばんの上側が温度を表していて、下側がしつ度を表している。